

【令和4年度 宮崎県立宮崎南高等学校 学校関係者評価】

※4段階評価(4:期待以上 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する)

評価項目 目標	具体的な方策	成果◎と課題▲	自己評価		次年度以降の改善策	学校関係者評価		
			項目別	総合		評価	コメント	
								項目別
1 学力向上 ①3年間を見通した南高スタイルによる教科指導の充実 ・各学年に応じたきめ細かな指導体制の確立 ・授業充実と放課後活用での個に応じた指導充実	■55分授業 ・放課後の有効活用 ----- ■シラバス・学習評価方法 ・新学習指導要領対応 ----- ■自然学級(1年生) ----- ■南模試(1・2年生 9月・1月) ----- ■放課後セミナー(3年生) ----- ■先進校視察 ・水海道第一、鶴丸、加治木 ----- ■各種通信(部・学年・教科) ----- ■次年度教育課程の検討 ・R7共通テストの「情報I」対応	◎実施5年目 基礎基本の定着や深い学びに繋がるよう工夫した授業を展開できている ◎「南セミナー」の早期実施 国数英の難関講座 1,2年 16:30~ ◎新シラバスを年度当初に生徒に提示 ▲計画通りに進んでいるか、活用が十分か等は随時点検が必要 ◎学習評価についての研修実施(4月) ◎G T Z (対外模試学力到達度)の普通科平均が上昇 ◎大学入学共通テストを見据えた問題作成に時間をかけることで教師の作問力も向上 ◎ニーズに応じた講座設定 難関・標準・公務員講座等 ◎茨城県や鹿児島県などの躍進・先進校を視察 3年間の指導体制、校内模試での作問力向上などの参考になった ◎学校ホームページ上で多くの講座受講の様子を紹介することができた ▲進路:月1回の発行ができない月もあった ◎「情報I」をR6年度3年次に設定 R5年度2年次の「情報I」対策を検討中	3.2	3.2	・ICTの利活用を通じ先生方の負担軽減を模索 ・新学習指導要領対応は年次進行でR6年度に完成するため、実態に即した評価方法その検証を行う必要がある ・各種指標を参考にしながら成果の確認を続ける ----- ・難関コースは放課後セミナーの時間以外でも指導機会の確保を図る ・探究活動が進路実績の向上につながるような視察先を検討 ・在籍生徒のみならず、本校受験希望者の増加につながるような記事紹介に努める ・教科横断的な指導体制構築学校が一体となって取り組む体制を模索する	3.4	・生徒募集のためのブランディングには内なるブランディングが大切だと思われる。「南高スタイル」で南高校が何を指すのかを明らかにして、そのことを全教職員で共通理解されることを希望する。 ----- ・授業研究と授業評価なくして「真の学力向上」はないと考える。「生徒の学力として表われる教師の指導力」ということを肝に銘じ、授業力・作問力の向上についてなお一層の取組をお願いしたい。 ----- ・デジタル採点システム導入の成果に期待する。 ----- ・文理混合で(フロンティア科のさらなる充実を含め)これからの時代を見据えた学力、ハイレベルの実績達成を目指してほしい。	
	②難関校を目指す生徒への組織的な指導の充実 ・ハイレベル講座やチームによる指導の実施	■南セミナー(1,2年) ■放課後セミナー難関コース(3年) ・放課後ハイレベル講座 ----- ■ハイレベル模試 ----- ■探究コース(フロンティア科) ・文理混合で少人数指導クラス設置	◎今年度は早期開講(2年6月~、1年7月~) ・難関層の集団化や意識向上 ◎3年生は個別指導での対応も実施 ----- ◎1年次2回、2年次3回、3年次4回受験 ・3年生は九大等模試に約10名が挑戦 ・鵬同窓会の支援が非常にありがたい ◎難関層の育成に成果(設置4年目) ・2年連続医学科現役合格1名、R3年度九州大学1名合格、R4年度九大志願者2名、医学科志願者1名 ▲3年間を見通した一貫性のある指導の在り方の構築	3.3	3.3	・超難関層には2年次後半より2次力養成のための個別指導を開始を検討 ★G T Z : Sランク以上の生徒5名 ・模試受験者の追跡を行い、進路判定に役立てる ----- ・検証しながら改善を図る ・習熟度授業を教英で行うことによる文理2クラス体制の検討	3.3	・南高スタイルの成果を検証しながら、常に課題や改善策が見いだせるよう更なる指導の充実を期待する。 ----- ・55分授業は時間を有効に活用する良い手段である。今後とも推進してほしい。 ----- ・「情報I」の対応は大変である。試験問題を見たが、難易度としては思ったよりも高い。教員側のしっかりとした対応が求められる。
	③基礎学力定着指導の徹底 ・自主学習の定着指導と部活動との両立支援	■スタディーサポート(学びの基礎診断) ----- ■Classi活用 ----- ■授業配信 ----- ■デジタル採点システム ----- ■文章読解力の育成	◎1・2年:2回、3年:1回受験 国数英について個別生徒の弱点発見・克服 →面談材料、記述模試対策に活用 ◎外部講師による分析会を実施 ◎欠席連絡を従来の電話連絡から切り替え(4月~) 効率的な欠席者の把握・管理が可能になった ◎Classiによる保護者・生徒連絡を各校務分掌等から直接行うことが可能 ▲利用ノウハウの有無によって教員間で活用の差 ◎新型コロナウイルス感染症による出席停止の生徒に対して、各教室から授業配信を行うことができた ▲授業配信規定の理解や配信実施状況がクラス間で不揃い ◎12月下旬にデジタル採点システムを試験的に導入 第2回南模試(1月)から試験運用を実施 ◎生徒及び教科担任による学力分析等が容易となる ◎採点業務の時間短縮 →教師が生徒と関わる時間を確保 ▲大学入学共通テストでは非常に高度な学力、特に速読力が重要だが、その育成が十分とはいえない	3.3	3.3	・面談技術や記述模試対策のノウハウを継承する体制の構築 ----- ・生徒の自走力育成・個別最適化につながるよう配信利用を促す ・職員研修等を充実させ、ノウハウの伝達を図る(5月開催予定) ・授業配信規定の再確認やさらなる検討が必要 ----- ・次年度からの本格導入に向けて、全職員が操作方法を把握できるようにする対応が必要 ----- ・各教科の授業・考査、朝読書の時間を通じ、高度な読解力、速読力、分析力を養成する体制の構築	3.5	・授業及び授業以外等、学力向上のため多くの手立てをとっている努力は素晴らしい。 ----- ・現状は、幅広い学力の生徒が入学しているのではない。それに応じた対応が必要で苦勞されていると想像される。トップ層への指導の充実も大切だが、全体的な底上げも期待している。 ・学力向上については、数字等で示すことは難しいかもしれないが、具体的な情報がほしい。難関校合格実績はまだまだ寂しいと感じる。
	2 進路目標の達成 ①進路指導体制の充実 ・国公立大学総合型・学校推薦型選抜制度の積極的な活用	■各種模擬試験 ----- ■小論文・面接指導 ----- ■各種講座(放課後・土曜) ----- ■学力検討会・進路判定会 ----- ■朝補習 ----- ■面談材料提供のための職員研修会	▲コロナ禍により未受験者数が増加 →各教科による事後指導開始の遅れ ◎全教科全職員での個別指導実施 総合型選抜については7月から指導を開始 ◎学年独自の工夫を講じながら講座制で実施 ----- ◎1・2年:学力検討会3回実施 3年:学力検討会1回、進路判定会2回実施 ----- ◎次年度以降の体制を検討し改善アンケート実施(生徒・保護者・職員) ▲コロナ禍により欠席遅刻者が増加傾向 ----- ▲ベネッセのFINESYSTEMやCompassを利用した面談スキル獲得を目指す	3.5	3.5	・進路内規を改定し、効果的な教科指導につなげる ★小論文指導研修1回実施 ----- ・実施の有無を含め学年で検討 ・先進校の事例を取り入れ、スタディサポート分析会も実施していく ・働き方改革や持続可能な体制、高校受験者にとって真に魅力的な体制を構築 ・新体制の検証を継続 アンケートの実施等 ★年度当初に面談指導研修会1回実施	3.4	・進路指導体制という、難関大学にのみ目が向きがちであるが、国公立大学で3割、私立大学で5割の定員を学力試験以外で確保するという状況を踏まえ、このことに対応した進路指導体制の構築も望まれる。 ----- ・外部の教育力を活用することは時には必要ではあるが、安易に外部に頼るのではなく、教員の力量をアップさせる取り組みも是非お願いしたい。 ----- ・コロナによる模擬試験の不受験者や朝補習等の不受講者対応により今後の進路にも影響をきたすと思われるので、より良き対応を期待する。
②外部の教育力の活用 ・産学官連携による探究活動等の推進	■高大連携 ----- ■出前講座・体験講座 ----- ■進路講演会 ----- ■探究活動	◎宮崎市内の全大学と連携した探究活動(2年) ◎新規連携校:第一薬科大学 ◎宮崎TOPセミナーやミヤダイ工学塾受講の拠点校 ▲探究活動につながるような講話内容や人選 ◎九州工業大学、長崎大学、鹿児島大学の出前講座や各種外部講座を積極的に実施・案内 ◎県立宮崎病院医師(本校OB)、ベネッセ顧問、ベネッセ本県担当者、医系専門予備校講師を招聘し実施 ◎宮崎市内の全大学と連携し探究活動を実施 ◎大学だけでなく企業等への協力をもらいながら探究活動への取組や内容等が上昇 1年…外部8団体から指導をもらい活動			・次年度以降も継続して連携してけるように体制を維持 ・本校で実施可能な講座の積極的受け入れ ・参加者増に向けて担任による呼びかけ強化やClassi等を利用した案内の強化 ・県進学研理事会を通じ講師のバリエーションを増やす ----- ・外部企業と連携をサポートする企業に入ってもらい企業との連携を深める		・探究活動の更なる発展、MSE Cなどの各種発表会参加者の増加の影響に期待している。 ----- ・県内の大学・企業やSDGsに関わるネットワーク等との更なる連携が望ましい。 ----- ・現在の進路指導体制に高校	

		<p>新たに3企業（スタディバレー株式会社、キャリアリンク、i.club）から無償サポート</p> <p>2年…企業や行政からも指導をもらい活動</p> <p>▲2年普通科において外部機関と連携できていない班があった</p> <p>◎フロンティア科1年生の1学期の「総合科学」の授業にて出前講座の講師として宮崎で活躍している企業（4社）の方を招聘</p> <p>◎視察研修にてJA宮崎経済連、龍南建設を見学</p> <p>◎各種報道機関からの取材、学校HPのリニューアルによる発信に努めた</p> <p>◎2つの班が商品開発に取り組み街市等で販売を行う</p> <p>◎今年初めて複数の班が協力した生徒企画のイベント「みな、見においDAY！」実施</p> <p>地域住民に発信し多数の地域住民が参加</p> <p>◎MSECフォーラムへの参加者増加（R3：40名→R4：51名）</p> <p>◎高校生サイエンス発表会への参加者増加（R2：12名→R3：18名→R4：21名）</p> <p>◎全国高校生読書体験記コンクール入選</p> <p>▲外部コンクール等への積極的な参加への啓発</p>	3.5	3.5		3.6	3.4	<p>受検者が魅力を感じていることは学校の特色として大いに評価できる。</p> <p>・全ての先生方による個別指導や朝補習に取り組みされており、敬意を表す。今後、これらの取組に対する分析が行われるようであるが、その結果を活用し、先生方の努力が生徒の成長に効果的に反映されることを期待する。</p> <p>・コロナの影響がある中、可能な範囲で最大限の努力をされていると思う。</p> <p>・入学試験が多様化する中で、それに対応する先生方の負担は非常に大きいと想像できるが、先生方の柔軟な対応が生徒の進路目標達成に不可欠とも考える。常に学び続けより一層指導力を向上させてほしい。</p>
	<p>■外部発信・PR</p> <p>■各種発表会・コンクール ・校内発表会</p> <p>■卒業生による進学講話</p> <p>■オープンキャンパス、外部講座への参加</p>	<p>◎3年学習会に先立ち、卒業生（青山学院大学、宮崎大学）により、受験生として夏場の重要性について講話</p> <p>▲職業選択、進路意識を早期に持たせ、オープンキャンパスや夢ナビライブ、外部講座に自主的・主体的に参加させる</p>			<p>・本年度以上に迅速に発信できるように心がける</p> <p>★2回実施（高校総体明け、8月）</p> <p>・オープンキャンパス等参加の動機付けや集団化を図る</p>			
<p>③特化した進路指導体制の確立</p> <p>・連携大学等への進学を目指す生徒の育成</p>	<p>■ひむか共創人財育成塾</p> <p>■宮崎大学・宮崎公立大学出前講座</p>	<p>◎ひむか共創人財育成塾（本校実施 5回）教師みらいコース79名登録 ふるさと宮崎創成コース50名登録</p> <p>◎全学部より講師を招聘 1・2年生全員がLHRで受講</p> <p>▲受講態度など事前指導の必要性</p>	3.5		<p>・県事業終了後もその代替行事の拠点校として地の利を活かす</p> <p>・大学調べ、受講用プリント配布など事前指導の充実</p>	3.3		
<p>3 豊かな人間性の醸成</p> <p>①安全・安心に配慮した教育活動の推進</p>	<p>■避難訓練 ・全校一斉の避難訓練を2回実施</p> <p>■いのちを大切に教育 ・7/4の6限終了後15分間設定 全学年同じ資料を使って実施</p> <p>■いじめ・リクエスト相談 ・Classiを利用（2回：6月・10月）</p> <p>■スクールカウンセラー ・希望生徒や保護者に対して月1回程度実施</p> <p>■生活支援員 ・生徒1名に対応 ・学校生活全般の支援</p> <p>■施設設備の管理 ・老朽化への対応と予算の確保</p>	<p>◎年度初め（4月）に実施 新入生への避難経路周知が主目的 学年ごとに各教室から避難（コロナ対応）</p> <p>◎実際の避難を想定して実施（12月） 授業時の地震を想定し各授業場所から避難</p> <p>◎安全教育推進リーダー研修会に参加 安全教育推進校の事例が参考になった</p> <p>◎「県いのちの教育週間」に合わせて本校では初めて実施 実施後アンケート…「いのちの大切さ」について考える有意義な機会になった（82%）</p> <p>◎実施方法を工夫し集約が早まったため生徒への対応も迅速に着手できた</p> <p>▲希望集約から相談実施まで時間がかかったケースでは状況が変わっている場合もあった</p> <p>◎カウンセリングによって精神的な負担が軽減できたという生徒や保護者が多かった</p> <p>▲希望が多く、生徒や保護者の希望通りの日程とならず、長期間待ってもらったケースもあった</p> <p>◎学校生活全般について、親身になって対応してもらっており、当該生徒は支障なく学校生活を送っている</p> <p>▲支援の継続と教室の位置変更による対応</p> <p>◎体育職員室の空調更新（R4.8.4）（故障による緊急工事）</p> <p>◎管理棟外階段の板金塗装（R4.9）（腐食部分の板金及び塗装）</p> <p>◎特別教室棟北側駐輪場の撤去（R4.9）（倒壊、飛散防止、駐車場の確保）</p> <p>◎外柵及び側溝蓋新設工事（R4.10）（西宅地側 防犯、児童等転落事故防止）</p> <p>◎部活動支援施設鉄骨塗装工事（R4.11）（鉄骨部分の錆び撤去及び塗装）</p> <p>◎グラウンド防球ネット改修工事（R4.12）（台風等による破損 張替及び部分補修）</p> <p>▲老朽化による防水工事の要望 ・雨漏り箇所の特定が難しいことから、業者に頼らずドレン清掃などできるところから行い、一部の解消を図った。</p> <p>▲全館空調の対応（個別空調の実現） ・継続して要望しており、本課としても早期の改修が必要だという認識を確認できた。 ・油量計の改修をおこなった。</p>	3.0		<p>・実際の災害に近い形での訓練となるよう内容を工夫する</p> <p>・実施形態については今後も継続して検討する</p> <p>・早めの相談が可能となるよう面談計画作成を工夫する</p> <p>・職員のカウンセリングのスキルアップによってカウンセラー業務の補完・補充を図る</p> <p>・保護者を含めた協議継続</p> <p>・主に危険箇所改修を優先するために予算配分がされており、老朽化する建物への予算確保が非常に難しい</p> <p>・改修は生徒、職員の安全を確保する上で必要不可欠であることを訴えながら、今後も粘り強く予算交渉を進める</p> <p>・次年度予定されている本課執行の工事 ①受水槽の撤去工事（R5.5工事開始） ②武道場等の改修工事（R5.6工事開始） ③受電施設改修工事（R5開始 ※未確定） も非常に大がかりな工事となるため、混乱が起こらないように早期周知等を含め、適切に対応していく。</p>	3.4	<p>・「南高スタイル」の一つとして「日焼けした秀才」「色黒の受験生」ということを理想と掲げて取り組んでいただきたい。</p> <p>・鵬ドリカム講座を受けての成果が見えるとより良いものになるのではないかと（例：看護の講座を受けた生徒の〇名中〇名が看護学科に進学した等）。</p> <p>・人権や多様性、いのちの大切さを重視する教育、主権者教育、およびカウンセリング相談を充実させ、校則の改正等は他校に先駆けて進めてほしい。</p> <p>・同窓会の支援や外部団体との連携も魅力ある特色として大変評価できる。</p> <p>・「豊かな人間性の醸成」という素晴らしい柱を掲げておられ、本当に素晴らしい。協議会の場で人権教育のことも質問に出たが、ジェンダーフリーや多様性など言葉だけが先行して、それを受け入れるための多面的な教育がまだ十分でないような気がする。大変な課題かと思うが努力をお願いしたい。</p> <p>・学校内外の資源を有効に活用した取組を行っていると思う。</p> <p>・新聞等で紹介される生徒や学校行事もあり、学校外での活動も活発に行われている印象を持っており、人間的な成長につながっていると思う。また、主権者教育が熱心に行われており、同世代の投票率と比較して高い水準であることを嬉しく思う。政治参加の意識向上が裁判員制度など社会や法と関わる意識の向上にもつながってほしい。</p>	
<p>②キャリア教育等による人間教育の推進</p> <p>・郷土愛に繋がる課題研究等への積極的な取組推進</p>	<p>■鵬ドリカム講座 （卒業生によるキャリア講演） ・30講座を開講（10月）</p> <p>■探究活動</p> <p>■県外への人口流出を防ぐ手立て</p>	<p>◎鵬同窓会の多大な御協力に感謝する</p> <p>◎生徒の進路意識向上に大きな成果</p> <p>▲講座分野、講師の確保は検討の余地あり</p> <p>◎外部団体と郷土に関する探究活動の実施</p> <p>◎延岡旭小学校との探究活動の交流</p> <p>◎ひなた探究プロジェクト（スタディバレー株式会社・UMK主催）に3名参加し地域の企業と対談</p> <p>◎宮崎南小学校南っ子クラブにおいて生徒による平和教育の実施</p> <p>◎郷土料理の開発、販売（へべサンド、縁結び）</p> <p>◎認知症サポーター養成講座開催</p> <p>◎県内企業紹介、県内大学との連携、県内自治体の取組紹介を各種講座を通じて実施</p> <p>▲普通科高校生としての学習習慣・スタイルの確立</p> <p>◎学校生活への円滑な導入</p>	3.3	3.3	<p>・講座分野の検討</p> <p>・県高P連大会でドリカム講座の成果を活用した分科会を実施予定</p> <p>・次年度以降も実施できるように取り組む</p> <p>★外部審査員による評価 鵬DP評価：平均2.8以上</p> <p>・本県の魅力を全教育活動を通じ生徒にPR</p>	3.4	3.5	
<p>③生徒の主体性を重視した取組の推進</p>	<p>■1年生の初期指導（FORM）</p> <p>①学習・生活に関するオリエンテーションの実施</p>	<p>▲普通科高校生としての学習習慣・スタイルの確立</p> <p>◎学校生活への円滑な導入</p>			<p>・先進校の事例を取り入れ、学習習慣別集会を実施</p> <p>・生徒心得の新規追加内容に</p>			

<p>・生徒会活動の更なる活性化</p> <p>・部活動の更なる活性化</p>	<p>◎本校生としての自覚の醸成</p> <p>■部活動</p> <p>①南高部活動生プロジェクト「キャプテン会」の実施</p> <p>■校則見直し</p> <p>①要望に基づく見直し項目の選定とスケジュールに沿った円滑な検討</p> <p>②クラス討議とアンケートの実施</p> <p>■女子スラックス導入</p> <p>①本校のこれまでの女子制服と調和するスラックスの選定と導入</p> <p>■主権者教育</p> <p>①法に関する学習(統一LHR)</p> <p>②模擬投票(参院選挙時)</p> <p>■生徒委員会活動</p> <p>①各種委員会の活性化</p> <p>②役員定例会の常時開催と生徒会行事の円滑な運営</p> <p>■ボランティア活動</p> <p>①各種ボランティアの募集と参加生徒への事前指導</p>	<p>◎部活動の活性化と規範意識の醸成をねらいとした生徒主体での年4回の討論会の実施</p> <p>◎部活動生による企画運営を経た年2回の下校呼びかけ活動の実施</p> <p>▲感染症による部活動生集会の中止</p> <p>◎生徒総会や目安箱における要望を受けた生徒会主導での改正案の骨子の作成</p> <p>▲校則見直しのプロセスの提示</p> <p>▲スケジュールの早期提示</p> <p>◎代議員及び風紀委員による合同委員会とクラス討論会などの生徒主体の活動の実現</p> <p>◎生徒、保護者、職員対象のアンケートによる幅広い意見に基づく最終改正内容の検討</p> <p>▲改正後の予想される事態とその対処法に関する議論の深まり</p> <p>◎防寒や防犯といった当初の導入目的の達成</p> <p>▲ネクタイとの着用、男子生徒の防寒対策</p> <p>◎生徒(生徒会、LHR委員会)による要項および実施内容の作成と授業の展開</p> <p>▲系統性や網羅性の確保</p> <p>◎生徒主体の実施…有志生徒による選挙管理</p> <p>◎実投票率…参院選75% 県知事選74%</p> <p>◎各種委員会の定期開催…学校生活の質向上</p> <p>▲クラスごとの取組のばらつき</p> <p>▲総務役員選挙立候補者の減少</p> <p>◎生徒会行事の円滑な運営</p> <p>◎学校生活の改善に向けた議論の深化</p> <p>◎生徒主体による文化祭や生徒総会、生徒会役員選挙などの行事運営</p> <p>▲生徒間での引継ぎ・伝達不足</p> <p>◎ボランティア募集20件</p> <p>(例)青島太平洋マラソン473名 まつり・えれこっちゃんみやぎ69名等</p> <p>▲募集の増加による申込負担増</p>	<p>留意しながらの継続的实施</p> <p>★指導翌日の遅刻欠席0</p> <p>・実施可能な範囲での部活動生集会の分散開催</p> <p>★部活動加入率90%</p> <p>・「生徒心得」に明記</p> <p>・生徒総会での提示</p> <p>・規範意識の醸成</p> <p>・生徒会によるクラス討議とアンケートの内容の作成</p> <p>★見直し満足度80%</p> <p>・生徒会及び制服検討委員会でのスラックス用ネクタイと男子セーターの検討</p> <p>★見直し満足度80%</p> <p>・主権者として必要な資質の分析と実施内容の検討</p> <p>★本校有権者投票率80%</p> <p>・全校集会、掲示物、配付物などによる全校生徒への一斉伝達</p> <p>・引継ぎ資料の作成</p> <p>・引継ぎ会の実施</p> <p>★総務役員選挙立候補者数20名(定員15名)</p> <p>・引継ぎ資料の作成</p> <p>・募集方法の簡略化</p> <p>インターネット利用等</p> <p>★総参加者数1000名</p>	<p>3.2</p> <p>3.4</p>
<p>4 特色・魅力ある学びの提供</p> <p>○全校生徒が自信と誇りを胸に語れる本校の特徴の充実・発展</p> <p>〈キーワード〉</p> <p>①普通科・フロンティア科</p> <p>②55分授業</p> <p>③文武両道</p> <p>④歴史と伝統(創立61周年)</p> <p>⑤進路実現</p> <p>⑥教育の情報化</p> <p>⑦PTA・鵬同窓会</p> <p>⑧生徒が主役</p> <p>⑨都市型コミュニティ・スクール</p> <p>⑩地域の学校</p> <p>⑪探究的な学び</p> <p>⑫高大等連携</p>	<p>■本校の特色ある学びの発信</p> <p>・高校説明会</p> <p>・授業公開</p> <p>・オープンスクール</p> <p>・学校パンフレット</p> <p>・学校ホームページ</p> <p>■PTA活動の活性化</p> <p>・学校行事や環境整備への協力</p> <p>・広報活動</p> <p>■Classiの活用拡大</p> <p>・クラウド型教育プラットフォーム</p> <p>・各部、学年、教科で多様な活用</p> <p>■三菱みらい育成財団プログラム</p> <p>・コミスク活動の原資</p> <p>■地域連携・大学連携</p> <p>■図書館利用活性化</p> <p>・利用しやすい図書館に向けた取組</p> <p>・生徒アンケート実施</p> <p>・進路、探究関係図書の実施</p> <p>■ICT活用教育</p> <p>■一人一台端末</p> <p>・探究活動での活用効果大</p> <p>・校内ガイドライン、ルールの検討</p> <p>・生徒の情報モラルの育成</p> <p>■教員志望生徒への支援体制</p>	<p>◎高校説明会…延べ31校</p> <p>◎授業公開…2回(6月、10月)</p> <p>中学校保護者の増加</p> <p>▲オープンスクール…生徒主体は好評</p> <p>参加人数(過去3年)631名→751名→672名</p> <p>◎本校の魅力コンパクトにまとめた学校パンフレットを作成し各所に配付</p> <p>▲パンフレット以外の外部発信・PRとしてのポスター作成や学習塾訪問等に着手できなかった</p> <p>◎ホームページデザインのリニューアル</p> <p>外部からスムーズに閲覧できるようになった</p> <p>◎学校ブログを小まめに更新(年度後半)</p> <p>◎コロナ禍における活動の工夫</p> <p>・奉仕活動…雨天中止も有志による実施</p> <p>・広報誌「鵬」発行…3回(7月、12月、3月)</p> <p>◎朝の交通立番指導:1回(5日間 1月)</p> <p>環境安全委員会による企画</p> <p>◎コロナ禍の欠席連絡ツールとして定着</p> <p>◎Classiのwebドリルや学習動画の活用</p> <p>生徒の主体的学習につながっている</p> <p>◎教科連絡や課題の配信</p> <p>◎生徒の活動支援に活用</p> <p>昨年度と同等の支援が可能となっている</p> <p>▲プログラムに加盟している県外の高校と生徒交流の推進</p> <p>◎地域と連携した吹奏楽部による演奏会の実施</p> <p>◎宮崎市内全大学、第一薬科大学との連携</p> <p>探究活動・各種講座で多面的な支援</p> <p>◎寺子屋ボランティアの再開</p> <p>赤江東中生徒へ実施</p> <p>◎SDGsコーナーの設置(R3より)</p> <p>◎季節ごとのディスプレイ変更…情操教育</p> <p>◎除籍本によるイベントの開催</p> <p>◎くつろぎスペースの設置</p> <p>◎職員版図書館通信の発行</p> <p>◎献血理解促進パネルの展示</p> <p>宮崎赤十字血液センターと協力</p> <p>▲南の100冊(本校職員のお勧め本)</p> <p>入力徹底できなかった</p> <p>◎ICT活用授業の研修を実施</p> <p>▲活用のスキルや頻度に個人差がある</p> <p>◎Googleクラスルームを活用した授業配信や各種ソフト・アプリを活用した授業を行う先生方が増えた</p> <p>◎COREハイ事業(R3~5文科省指定事業)における授業配信校…工夫した遠隔授業を実施</p> <p>◎「ICTミニ研修」を開催…16回(6月~)</p> <p>職員のICTスキル向上に努めた</p> <p>◎1年…6月上旬までに個人購入端末整備を完了し、各教科の授業で活用できた</p> <p>◎2年…県貸与のタブレットを学習活用</p> <p>◎3年…個人所有のスマートフォン等の学習活用</p> <p>▲1年…初年度のため端末初期設定等、困難な業務状況となった</p> <p>◎教師みらいコースに加え、宮崎県教員ガイドライン、スクールトライアル(高校生版)を実施</p>	<p>★オープンスクール参加人数800名</p> <p>・学校説明会で参加を促す</p> <p>・ポスター作成や学習塾訪問等に着手できなかった点については、計画的な準備等による改善を図る</p> <p>★パンフレット発行月</p> <p>R4:10月中旬発行→R5:8月初旬発行</p> <p>・引き続きHPの管理体制を充実させたい。</p> <p>★校内ブログ更新数</p> <p>R4:月4回→R5:月10回</p> <p>★立番指導計画3回(各学期)</p> <p>・学習指導や学級経営など他校の優れた活用事例を職員研修等を通して職員間の情報共有を図る</p> <p>・加盟高校の教員交流会で提案予定</p> <p>・生徒にアンケートを実施し要望の多かった取組を実施</p> <p>次年度以降もこの取組を実施しさらなる改善を図る</p> <p>・学期ごとの読書週間で入力を促す</p> <p>★研究授業…各教科1回</p> <p>・職員研修(ICTミニ研修)を引き続き行い、職員のICTスキル向上や校務分掌間でのICTに関する情報交換を図る</p> <p>★研修実施数R4:17回→R5:30回</p> <p>・個人端末購入～設定～次年度計画など、端末準備業務の流れを確立させ、円滑な運用に努める</p> <p>・志望生徒集団のニーズに応える講演会等を継続・実施</p>	<p>3.3</p> <p>3.3</p> <p>3.4</p> <p>3.4</p> <p>・「特色ある学校づくり」の特色とは、他校がやっていない目新しいことをやるというのではなく、「学校としてやるべきことをしっかりやる」という視点に立ったものであって欲しい。「学校の役割」「教師の役割」を十二分に果たしていることを特色にしていたきたい。</p> <p>・南高らしい特色ある学びの提供が数多くあり、今後の発展が期待できる。</p> <p>・今までの探究学習・地域との連携による蓄積の上に持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成するコミュニティスクールへと進む中、南高校の特色をさらに明確にしてその魅力と実績をしっかりと発信していくことが大切だと思われる。</p> <p>・これからもキーワードに沿った学びの提供と発信に期待している。</p> <p>・全校生徒が自信と誇りを胸に語れる本校の特徴とは何かについて、学生さん自身が考えたことはあるのだろうか。具体的な方策に書かれている取組からはあまり見えてこない。「南高といえば○○○だね」と言えるような何かがあるとよい。そのような特色を生徒と一緒に創って取り組める用になることに期待している。</p> <p>・今後も、生徒主体の活動が推進されることを期待したい。</p> <p>・現在の志願状況を見ると、学校のこれまでの様々な取組が、在校生やこれから本校への進学を検討している中学生に求められているものなのか、その取組の良さが十分に伝わっているのかについて、今後検証をすべき状況ではないかと思う。</p>